

本マニュアルの目的

クマ類（ツキノワグマ、ヒグマ）は、日本を代表する大型動物であり、森林生態系の重要な構成種です。一方、クマ類による農作物被害、森林被害、畜産被害、人身被害など、人とクマ類のあつれきが問題となっており、環境省では平成 19（2007）年に「クマ類出没対応マニュアル」を作成するなどしてきました。しかし、近年、人里へのクマ類の大量出没による人身被害が増加しており、人とクマ類のあつれきは一層深刻な状況となっています。このため、環境省では、このような現状を改善することを目的として、これまでに蓄積されてきたデータを踏まえ、14 年振りにマニュアルを改定することにしました。

本マニュアルは、クマ類の出没を減らし、クマ類による被害を減らすことを目的として、その対策をまとめたものです。地方公共団体の鳥獣行政担当者を主な対象者として想定していますが、クマ類出没時の注意事項やクマ類とのすみわけを図るための地域づくりなど、地域の住民の方々にも参考となるようにとりまとめています。

本マニュアルは、全国共通のマニュアルとして作成していますが、クマ類の生息状況、出没状況、被害状況などは地域によって異なります。各都道府県や地域の状況にあった出没対応マニュアルの参考として、本マニュアルをご活用ください。